



日本のカトリック教会の問いかけ

## シンポジウム

『今こそ原発の廃止を—日本のカトリック教会の問いかけ』  
を読む

2017年11月25日 14:00～16:00 京都教区河原町教会ヴィリオンホール

約2年半の編纂事業をへて、昨年2016年10月、『今こそ原発の廃止を—日本のカトリック教会の問いかけ』が上梓されました。本書は、原発事故後の約5年を振り返り、未だ原発・核社会から脱皮できない日本社会、それをとりまくグローバリズムを問い直し、教皇回勅『ラウダート・シ』にも導かれて、今後とるべき私たちの道筋を示すことを試みました。

あれからはや1年。ここで、編纂事業の責任者、編纂・執筆者、脱原発の科学者という3つの立場から、『今こそ原発の廃止を—日本のカトリック教会の問いかけ』をもう一度読み直し、わたしたちがいま取るべき道筋を確かめたいと思います。

## シンポジスト

今中哲二

京都大学原子炉実験所研究員

大塚喜直司教

京都教区教区長

『今こそ原発の廃止を—日本のカトリック教会の問いかけ』  
司教団編纂責任

光延一郎神父

日本カトリック正義と平和協議会  
平和のための脱核部会  
会長

『今こそ原発の廃止を—日本のカトリック教会の問いかけ』  
編纂委員会代表

共催：京都教区カトリック正義と平和協議会

日本カトリック正義と平和協議会 平和のための脱核部会

お問い合わせ：日本カトリック正義と平和協議会

03-5632-4444